



検問所での車両点検



相互に連携して周囲を警戒する歩哨



敵を発見して迅速に拘束



低い姿勢で敵の動向を窺う



夜間における建物内の索敵

連隊は、9月17日（火）から9月18日（水）の1夜2日の間、北海道大演習場東千歳地区市街地訓練場及び同周辺地域において06陸演のミッシェンリハールとして市街地における重要防護施設の警戒・防護における各種行動を実施した。状況が著しく変化する場合、隊員相互に連携し、各種事態に際した権限内で敵の襲撃等に適確に対応して与えられた任務を完遂した。

潜伏する敵を掃討せよ市街地戦闘訓練



もくれん

発行
第18普通科連隊
広報室
SNS始めました!!
フォローをお願いします。



銃を保持して声を出す学生

8月13日（火）から28連隊が担任で実施されている旅団集合教育「レンジャー」に連隊から5名の隊員が被教育者として参加している。9月10日（火）、真駒内駐屯地において10キロ走歩が行われ、時間の経過と共に体力の限界近くに到達する隊員もいたが、沿道に集まった多くの隊員の応援を受けて一人も脱落することなく走破した。

旅団集合教育「レンジャー」



レンジャー旗を保持する学生



消防隊員と連携した救助



避難者への物資輸送

第2普通科中隊は、9月11日（水）、大和ハウスプレミストドームで実施された札幌市総合防災訓練に参加し、大規模な地震災害発生時の想定に協力しながら要救助者の搬出や避難者への物資輸送等を実施した。連隊は、引き続き地域や関係機関と連携を深め、いざという時に備えていく。

札幌市防災訓練



講師の本松 敬史 氏



隊員一同と記念撮影

9月27日（金）、連隊精神教育の一環として真駒内駐屯地に、元西部方面総監、本松敬史 氏を部外講師としてお招きし、演題の「我が国を取り巻く安全保障環境を踏まえた防衛体制（隊務運営）等の在り方について」ご講話を頂きました。拝聴した隊員一同は、演題について知識を深め、教養の向上を図りました。

連隊精神教育



英霊に思いを馳せる隊員



忠霊塔に拝礼する連隊本部

9月28日（土）、札幌市豊平区月寒平和公園に所在する月寒忠霊塔を連隊所属隊員で参拝した。この納骨塔は昭和9年に建立され、約4千柱の御遺骨と霊柩等が納められており、参拝した隊員は、悠久の大儀に殉ぜられた御霊の御遺徳に対し、ただ静かに黙祷して哀悼の誠を示すとともに、郷土部隊の歴史と伝統を受け継ぐ自衛官としての自覚を新たにした。

月寒忠霊塔で哀悼の誠